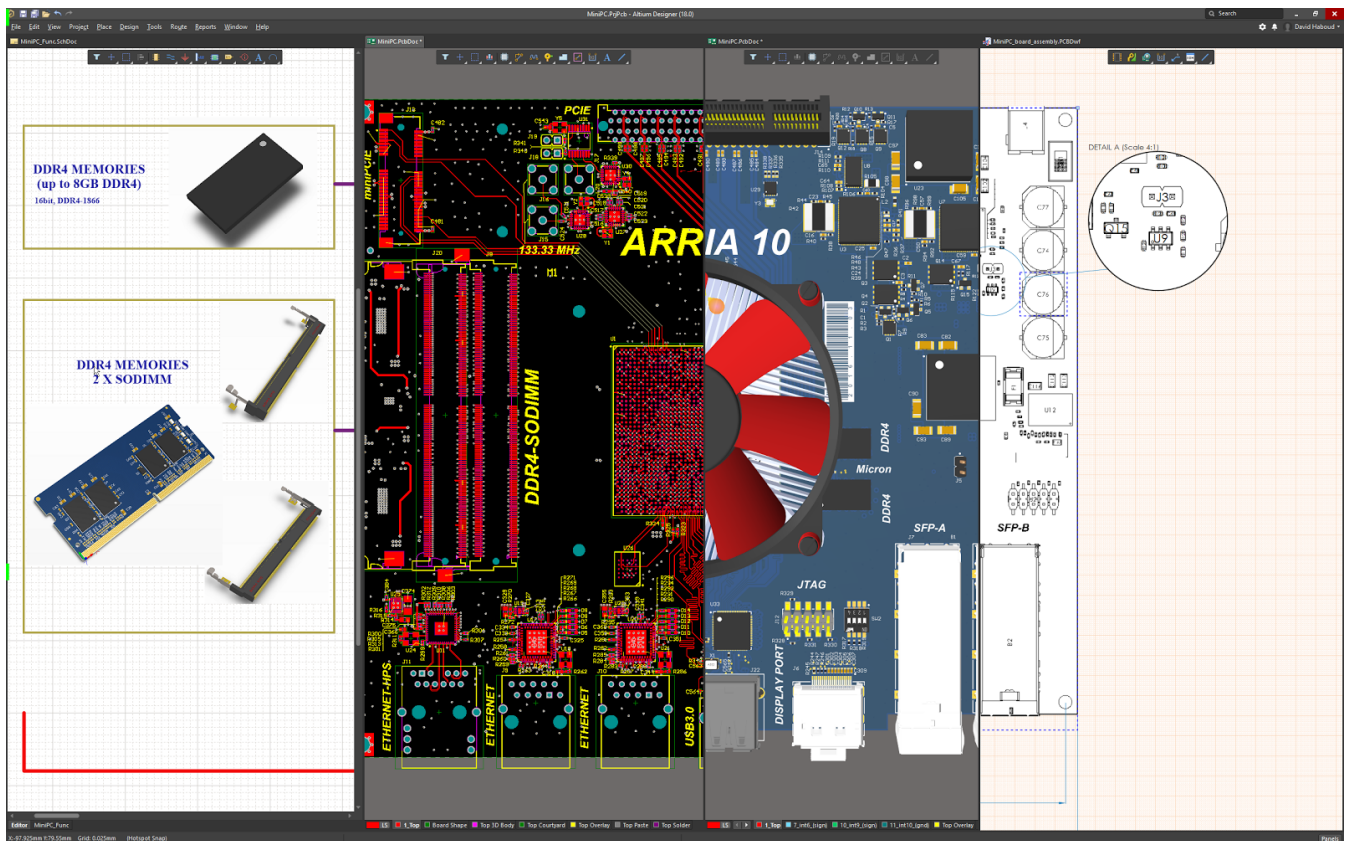


機能と利点

- 回路図、PCB、ECADデータがすべてのプロジェクトで同期される統合設計環境であるため、データの変換は不要です。
- さまざまなECADツールで使用していた古いプロジェクトをAltium Designerに容易にインポートできます。
- 直感的な回路図入力機能を備える最新のデザインワークスペースで、すばやく簡単に回路設計を行えます。
- 強力な64ビットのアーキテクチャーを備えるため、性能、安定性、機能に関する制約がすべて排除されます。
- 設計プロセスを加速させ、試作品の再設計のコストを削減する統合ツールを活用できます。



統合プラットフォーム

電子機器設計システムの従来の構想は、少なくとも大半のEDAベンダーにとってはそれほど変化していません。これは、多くのベンダーが現在の課題に対処するために苦勞しているのを見れば明らかなことでしょう。個別のソリューションをつなげ合わせようとする断片化のアプローチではさらに問題が発生し、最終的には機能なくなってしまいます。やり取り中にデータが一致しないことがあるような一貫性のない設計アプリケーションで革新を図るのは、困難で持続不可能なことです。Altium Designerはそのように構築されていません。

Altium Designerは強力な単一アプリケーションの電子機器開発環境としてゼロから構築されており、ハードウェアの設計やシミュレーション、PCBの設計、MCADとのコラボレーション、ECADデータやドキュメントの管理、構想から製造までの設計の運用に必要なすべての高度な設計ツールが提供されています。これらはすべて1つの統合された設計プラットフォームに用意されています。

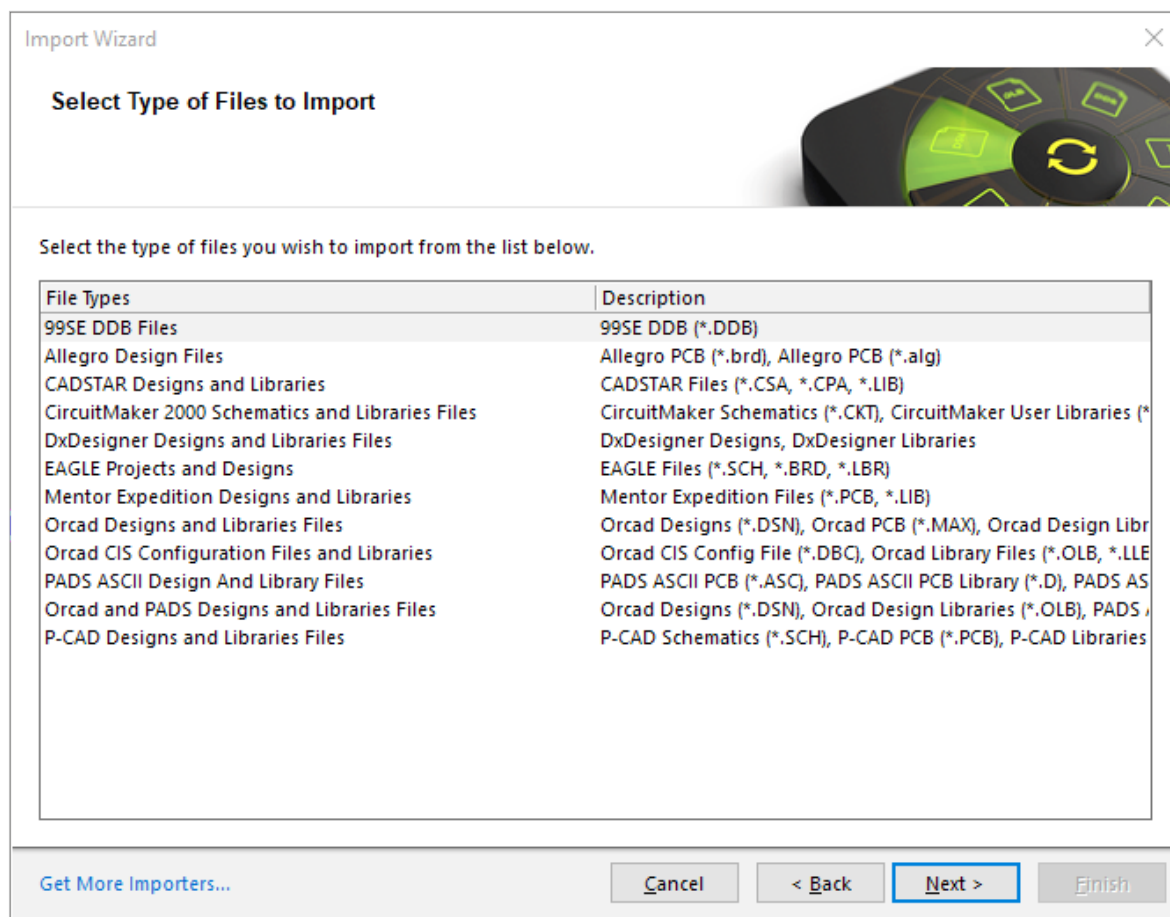
また、コンポーネントモデルからサブアセンブリまで、設計データも統合されています。リンクしたツールアプリケーションの集合体に基づく従来の設計システムとは異なり、この統合プラットフォームではそれぞれの設計アプリケーションで、設計データが一元化されたモデルにアクセスして修正することが可能です。これは、全員に表示される1つの設計プロジェクトであり、1つの設計データモデルであり、1つの開発環境です。プラットフォームレベルですべての設計アプリケーションに提供される一貫した統合設計データソースによって、設計の同期とデータの管理が単純なプロセスになっています。

Altium Designerに関心はあるものの詳しく知らないという方もご心配は無用です。Altium Designerでは、他のPCB設計パッケージからプロジェクトをインポートできるため、既存の設計データをこのソフトウェアですぐに活用できます。

デザインのインポート

過去のプロジェクトが古いツールでパッケージされているため、移行コストが高額になるとお考えの場合もご心配に及びません。Altium Designerには使いやすいインポートウィザードが用意されており、さまざまなECADツールの大半の設計プロジェクトを変換できます。この自動インポートツールを使えば、P-CAD®、EAGLE®、OrCAD®、PADS®、Xpedition® xDX Designer、Xpedition® Enterprise、CADSTAR®、Allegro®のプロジェクトファイルをインポートして使用できます。回路図、基板レイアウト、関連する設計データを作成し直す必要はありません。¹²³⁴

この汎用的なインポートツールを使って、古いライブラリーや設計データをAltium Designerに移行すれば、なじみのあるプロジェクトを活用できるため、スムーズにスタートを切れます。移行の合理化と習得の最小化が可能になるうえ、プロジェクトのどの段階でも移行できます。設計プロジェクトをゼロから開始する必要もありません。



プロジェクトデザインのインポートウィザード

¹Xpedition®とPADS®はMentor Graphics Corporationの登録商標であり、Altiumがこれらの製品に対する権利を主張するものではありません。

²EAGLE®はAutodesk Incの登録商標であり、Altiumがこの製品に対する権利を主張するものではありません。

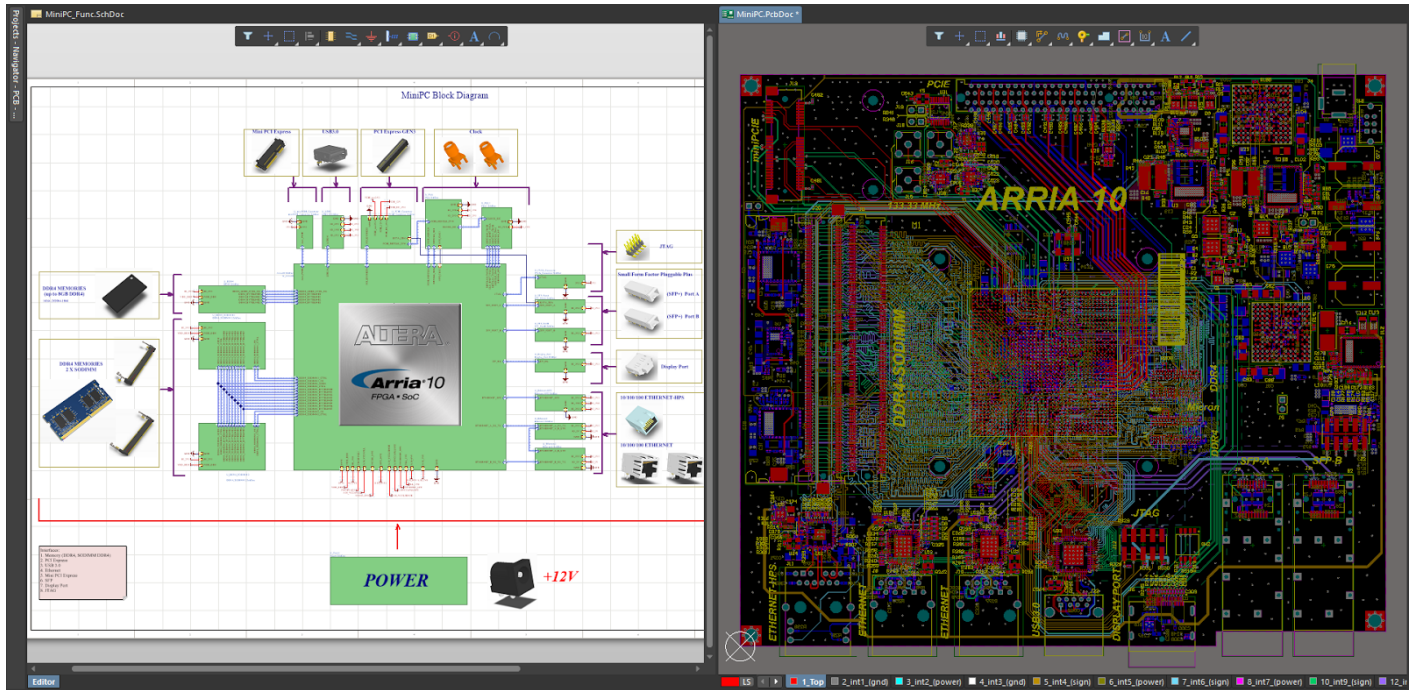
³OrCAD®とAllegro®はCadence Design Systems, Incの登録商標であり、Altiumがこれらの製品に対する権利を主張するものではありません。

⁴CADSTAR®はZukenの登録商標であり、Altiumがこの製品に対する権利を主張するものではありません。

統一した回路図とPCBレイアウト

クロスプローブと統合データセットでは、回路図でオブジェクトを選択すると、PCB上でも同じオブジェクトが選択されます（その逆も同様です）。クロスプローブでPCB上の各ネット、ピン、コンポーネントが自動的に相互参照されるため、回路図の実装について明確に把握できます。Altium Designerでは、回路図とPCBを双方向で接続し、設計プロセス全体を通して統一されたインターフェイスが提供されるため、生産性が向上するほか、回路図とPCBレイアウトの相互参照も可能です。

関連する回路をすばやく配置し、情報に基づく意思決定を行って、最初から適切なレイアウトを容易に作成することができます。そのうえ、デザインのすべての詳細情報が含まれる専用パネルを使えば、デザイン要素も簡単に見つかります。



統合された設計データモデル環境

効率的なPCB設計

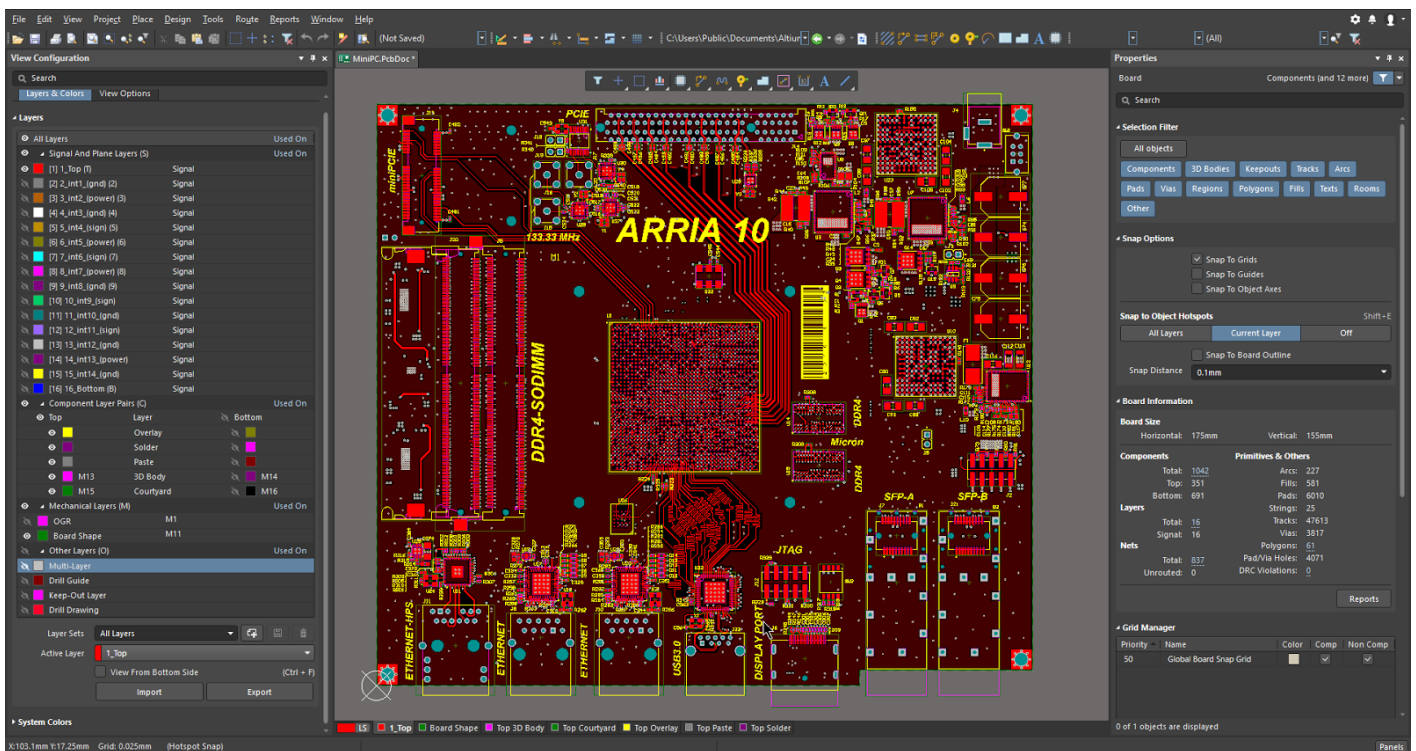
強力な64ビットのアーキテクチャーが搭載された単一のマルチスレッドアプリケーションプラットフォームは、大規模で複雑な設計にも難なく対応します。このプラットフォームでは、PCBの設計作業や完成を遅らせる制約はありません。大きなファイルを開くのであれ、ポリゴンを構築するのであれ、オンラインのDRC（デザインルールチェック）を実行するのであれ、ドキュメントの出力を生成するのであれ、すべてのワークフローを簡単かつ単純にすばやく実行できます。

日常的なワークフローを簡素化するために必要な機能がすべて提供されているAltium Designerでは、グラフィックエンジンによってGPUとビデオカードメモリーもさらに活用されています。レンダリングが改善されたことで、どんなに複雑で大規模な設計でも、これまでよりもはるかにすばやく2D/3D表示を読み込むことが可能です。GPUに手間のかかる仕事を任せることで、ワークスペースの状況をすぐに変化させ、利便性と生産性をさらに向上させることができます。安定性と機能が向上して速度が上がると、競争力のある独自の革新的な電子設計の追求という本当に重要なことにもっと時間をかけられるようになります。

最新のインターフェース

すべてではないとしてもほとんどの新しいEDAツールでは、この10年間でユーザーインターフェイスがあまり変更されておらず、それほど新しくは見えません。まとまりのない画面や雑然とした情報、古いグラフィックが採用され、まだ簡素化や生産性に焦点が置かれていないのが現状です。Altium Designerでは、さらに論理的かつ合理的な最新のインターフェイスが提供されるようになりました。この更新では、たくさんのメニューやツールバー、ダイアログを使用することなく、すばやく効率的に最適な生産性を確保できるよう、数多くの機能が大幅に改善、統合されています。

順応性の高い1つの統合されたプロパティパネルが用意されているため、PCB、回路図、ライブラリーを問わず、ドキュメントのオプションにすばやくアクセスして使用できます。プロジェクトパネルではすべての設計ファイルとナビゲーションデータが1か所にまとめられるようになったため、設計構造に関する情報をいつでも簡単に見つけて使用できます。また、強力なグラフィックエンジンで提供されるレイヤーと色のパネルでは、基板やレイヤー、3Dコンポーネントを表示したり覆ったりする方法やシステムレベルの色をこれまでよりも詳細に設定できます。また、オブジェクトやコマンドを思い出せなかったり、見つからなかったりしたら、グローバル検索で探すことができます。Altium Designerの新しいインターフェイスでは、無駄のないすっきりとした見た目にも魅力的な設計環境が提供され、活用できるすべての強力な機能にさらにアクセスしやすくなっています。



より生産的なワークフローを実現する最新の統合インターフェイス